

中部大学ローンテニス部規約

制定 1967（昭和 42）年 4 月 1 日

（名称）

第 1 条 本団体は、「中部大学ローンテニス部」と称する。

（目的）

第 2 条 社会人としての健全なる精神と身体の向上を計ることを第 1 の目標とし、校風の向上と部員相互の団結を計る事を第 2 の目的とする。

（活動）

第 3 条 「中部大学クラブに関する規程」に則り、活動を行う。

第 4 条 第 2 条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) ローンテニスに関する活動
- (2) ローンテニスに関する大会等への参加
- (3) ローンテニスに関する、他大学学生及び他団体との交流
- (4) その他、本団体の目的を達成するために必要な活動

2 練習は主として本学コートにて週 3 回を原則とし、合宿は年 1 回本学コートまたは学外にて行うものとする

（組織構成）

第 5 条 本団体は、中部大学の学生を構成員（以下「部員」という。）として組織する。

（役員）

第 6 条 本団体には、主将、副将及び会計を置く。ただし、必要がある場合は、その他の役員を置くことができる。

2 役員は次のいずれかの場合は辞任しなければならない

- (1) 自ら辞意を表明（臨時総会で認められた時）
- (2) 健康上またはその他の理由により任務が遂行できなくなった時

（顧問）

第 7 条 中部大学ローンテニス部に顧問を置く。顧問は中部大学の教職員をもって充て、学長が任命する。また、その任期は特に定めない。

（会計）

第 8 条 部員は活動のために、部費を納めるものとする。部費は月 2 0 0 0 円とする。

第 9 条 会計年度は原則、4 月から翌年 3 月までとし、年に一度、部員に会計報告を行い、承認を得るものとする。

(入部及び退部)

第 10 条 入部希望者は、主将にその旨を伝え、規約や規則等の説明を受け、入部願を提出する。

第 11 条 退部を希望する部員は、主将にその旨を伝え、退部願を提出する。

第 12 条 第 8 条において、主将は退部を希望する部員に対して、速やかに手続きを行うものとする。また、役員である者は、必ず後任を選出し、その者に引き継ぎを行った後、退部を認める。

(規約の変更)

第 13 条 規約の変更は、役員の会議を経た後、部員の承認を得るものとする。

(事故防止の義務)

第 14 条 ローンテニス部の構成員全てが事故を未然に防ぐ能力を取得し、常に事故を防ぐための最善の努力をしなければならない。万一、不測の事態が発生した場合、人命救助を最優先する。

(罰則等)

第 15 条 部員が、以下の行為を行った場合は、その程度により、注意喚起し、又は退部を促すことがある。

- (1) 第 2 条の目的から外れた活動を行ったとき。
- (2) 役員が、職務を遂行しなかったとき。
- (3) 第 8 条に定める部費を納めなかったとき。
- (4) 本団体の活動を著しく妨害したとき。
- (5) 学生が本学の定める諸規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為があったとき。

(総会)

第 16 条 定期総会は年に 1 回開くものとする。また、適時に臨時総会を開く事とする。なお、定期総会においては役員改選、事業計画を行うものとする。

附 則

本規約は、1967 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本規約は、2025 年 4 月 1 日から施行する。